

特定施設設置（使用、変更）届出書

年 月 日

静岡県知事

様

〒

フリガナ

住所

届出者

フリガナ

氏名

氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

{ 水質汚濁防止法第5条第1項又は第2項（第6条第1項又は第2項、第7条） } の規定により、特定施設について
 { 静岡県生活環境の保全等に関する条例第35条（第36条、第37条、第38条） } 次のとおり届け出ます。

フリガナ 工場又は 事業場の名称		※ 整理番号	
フリガナ 工場又は 事業場の所在地	〒	※ 受理年月日	
水濁法第5条第1項 関係 県生活環境保全条例第35条	特定施設の種類の欄	※ 施設番号	
	△特定施設の構造	※ 審査結果	
	△特定施設の使用の方法	※ 備考	
	△汚水等の処理の方法		
	△排水水の汚染状態及び量		
	△排水水に係る用水及び水の系統		
水濁法第5条第2項 関係 県生活環境保全条例第36条	有害物質使用特定施設の種類の欄		
	△有害物質使用特定施設の構造		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法		
	△汚水等の処理の方法		
	△特定地下浸透水の浸透の方法		
	△特定地下浸透水に係る用水および排水の系統		

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、水質汚濁防止法施行令別表第1及び静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第6に掲げる号(項)番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。なお、可能な限り同一図面等の中に複数の記載を行うことと、図面等の数は必要最低限とすること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設号(項)番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項	同一施設の数：	同一施設の数：

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設号(項)番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m^3 /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
工事着手予定年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
工事完成予定年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
使用開始予定年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
 2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。
 3 参考の欄には残さ処理委託先業者名を記載すること。

排水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号					
排 出 水 の 汚 染 状 態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	排水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
	その他参考となるべき事項	排水の排出先 ()を経て 川へ 海		排水の排出先 ()を経て 川へ 海	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

参考事項

※業種 (分類項目名)				※細分類番号				
主要製品				担当部課係名				
				フリガナ				
				担当者職氏名				
				フリガナ				
				公害防止管理者				
工場又は事業場の 従業員数	人			工場又は事業場の 電話番号				
資本金	百万円			本社電話番号				
水質汚濁防止法に よる初回届出	年	月	日					
環境マネジメントシ ステム導入の有無 (自社構築を含む)	無・有			審査登録機関名： 自社構築				
今回の届出の概要								
規模要件のあるもの	特定施設番号	要件	規模	特定施設番号	要件	規模		
	1の2(イ)	豚房の総面積	m ²	66の7	業務の用に供する部分の総面積	m ²		
	1の2(ロ)	牛房の総面積	m ²	66の8	同上	m ²		
	1の2(ハ)	馬房の総面積	m ²	68の2	病床数	床		
	64の2	浄水能力	m ³ /日	69の3	水産物に係る売場面積	m ²		
	66の4	業務の用に供する部分の総床面積	m ²	70の2	屋内作業場の総床面積	m ²		
	66の5	同上	m ²	71の3	焼却能力火格子面積	kg/時 m ²		
	66の6	同上	m ²	72	人槽	人槽		
市町担当 記入欄	所属水域				下水道処理 区分の有無	有・無		

※ 業種欄は、日本標準産業分類（平成19年11月改訂版）による細分類番号、分類項目名を記入すること。